

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望を全員の正社員化する。

ゆげせ、均等待遇、なげんご差別ー。

ユニオンは労基法裁判に勝利したんやー。

ヤマト運輸と協業 激増する ゆうパケット!! 誰が配るんや!!

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中野支部
機関紙「みらい」
NO. 4359
23年6月23日(金)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

おはようございます。
6月19日、日本郵政株式会社、日本郵便株式会社（以下「日本郵便」とヤマトホールディングス株式会社、ヤマト運輸株式会社（以下「ヤマト運輸」）は、物流をめぐる各種社会課題の解決に貢献し持続可能な物流サービスを推進していくための協業に関する基本合意書を本日締結したと発表しました。

今回の協業の狙いは、両社の経営資源を有効活用することによる、顧客の利便性向上に資する輸送サービスの構築と事業成長。相互のネットワークやリソースを共同で活用し、物流業界における2024年問題（トラックドライバー不足など）、環境問題（カーボンニュートラル）といった社会課題の解決を目指すものです。

現在ヤマト運輸が扱っている商品の日本郵便への移行時期などは左表を参照してください。（4社のホームページより転載）

また20日の毎日新聞には、「冷凍冷蔵トラックや郵便ポストの共同利用、ヤマトの「宅急便」の郵便局での受け取りなど、協業分野の拡大を検討する方向」との記事も掲載されています。（毎日新聞20日朝刊より転載）

この協業発表は、おおむね好意的に受け止められているようです。確かに配達員確保が難しくなっている中で、同様のサービスを競争して行う必要は

要件は乏しく、得意分野でのすみ分けも検討されるべきだとは思いますが、ただし、それは業務（荷物）を受け取る方の日本郵便が、増加する業務量に見合う要員が確保されるなら、という話です。

表にあるようにネコポスとゆうパケットの個数はほぼ同数です。簡単に言えば、現在のゆうパケット数が2倍になると考えられます。これに加えクロネコDM便もやってくる。

クロネコDM便は、契約している法人や個人事業主のみ利用出来るサービスで、規格は、3辺の合計が60cm以内かつ重量が1kg以内。ゆうメールと異なり追跡サービスが有ります。

協業の合意内容

ヤマト運輸が取り扱っているクロネコDM便のサービスを2024年1月31日に終了し、日本郵便が取り扱う「ゆうメール」を活用した新サービス「クロネコゆうメール（仮称）」の取り扱いをヤマト運輸ではじめる。

また小型の荷物「ネコポス」のサービスも2023年10月以降順次終了。

今後は日本郵便が取り扱う「ゆうパケット」を活用した新サービス「クロネコゆうパケット（仮称）」として取り扱い、いずれのサービスもヤマト運輸が荷物を預かり、日本郵便の配送網で届ける新サービスへ移行する。

こうした新サービスは、2024年度末をめどにすべての地域で利用可能になる見込み。

23年4月期の各商品の引き受け個数・小口貨物取り扱い実績

ネコポス	約 3,550 万個
クロネコDM便	約 6,540 万冊
ゆうパケット	約 3,570 万個

クロネコDM便は「ゆうメール」を活用した新サービス「クロネコゆうメール（仮称）」になるというのですが、従来DM便を利用してきた利用者が、ゆうメールは追跡サービスがないため、或いはサイズオーバーなどの理由でゆうパケットに流れる可能性もあります。DM便はゆうパケットの2倍弱の取扱個数があるため、その1割強でもゆうパケットに置き換わると更にゆうパケット数は2割ほど増加となります。長中局の通配区あたりのゆうパケット類の数は平均30個ほどです。これが60個或いはそれ以上に増えるかもしれませ

ルと異なり追跡サービスが有ります。

ん。私の感覚では、ゆうパケット類の1個当たりの処理時間（居住確認など受け入れ作業含む）は約2分です。30個増えれば60分作業時間が増える計算になり、1班当たり業務量が4〜5時間分増えることが予想されます。それでも平日は超勤すればよいのですが、土日祝日は今の要員配置では確実にパンクします。増配置する要員は確保できるのでしようか。

第二集配営業部では、3月以降3人が退職、後補充は出来ていません。ゆうパケットが増加しても「募集しているけど応募がない。人が来るまで今の人数で我慢して」と言われるのが目に見えています。



郵便局段階での募集活動には限界があります。時給の大幅アップや来年度以降の新卒採用数の大幅な拡大を上申するなど、実のある要員確保対策を要求します。

